

栃木市合併5周年記念 第19回蔵の街ふるさとまつり

蔵の街大通りにて、物販やPR展示、山車の展示、栃木市の産業と物産展など、秋の各種イベントが盛りだくさん。“とちぎの秋”をお楽しみください。

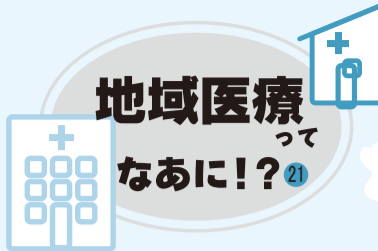


山車会館前に展示された山車



「産業と物産展」の様子

- ◆日時 10月31日(土)・11月1日(日) 10時～16時予定(雨天決行)
- ◆会場 とちぎ蔵の街大通り(足銀～万町交番)、近龍寺参道及び門前(交通規制 9時～17時)
- ◆問合せ 蔵の街ふるさとまつり実行委員会事務局(栃木商工会議所 ☎(23) 3131)
本 商工観光課 ☎(21) 2371



とちぎメディカルセンター しもつが 病院見学会のお知らせ

一般財団法人とちぎメディカルセンターが整備を進める『とちぎメディカルセンター しもつが』にて、病院の概要説明及び施設見学を行います(一般財団法人とちぎメディカルセンター主催)。

- ◆日時 11月6日(金) 11月7日(土)
- ①10時～11時 ②11時～12時 ③14時～15時 ④15時～16時
1日4回 計8回開催
- ◆場所 とちぎメディカルセンターしもつが(大平町川連)
- ◆対象 市内在住の方(18歳以上)
- ◆定員 各回20人(先着順)
- ◆参加費 無料
- ◆申込 とちぎメディカルセンター法人本部 ☎(20) 1281
○申込期間 10月5日(月)～16日(金)(土・日・祝日を除く)
9時～17時の間に、電話でお申し込みください。(定員になり次第終了)
※現在建設工事のため見学には保険加入が必要となることから、申し込みの際は、住所・氏名・年齢・職業・電話番号をお伝えください
- ◆問合せ先 とちぎメディカルセンター法人本部 ☎(20) 1281
本 地域医療対策室 ☎(21) 2336

とちぎ協働まつり2015 ～みんなですすめる明るい豊かなまちづくり～

今年のテーマは「“わくわく”～小さなわくわく、みんなとつながる～」。小さな思いが繋がって起こる素敵で楽しいイベント。みなさんも協働の輪で“わくわく”を広げましょう!



とちぎ協働まつり2014の様子

- ◆日時 10月25日(日) 9時30分～16時
- ◆場所 栃木市総合運動公園(川原田町)
- ◆イベントエリアの紹介
- ◇協育…親子で汗を流すチャレンジランニング大会、とちぎふるさと写真俳句コンクール
- ◇ステージ…お笑い芸人出演、ダンスパフォーマンス、大抽選会など
- ◇くらら…各市民活動団体による展示・体験などの活動PR
- ◇子育て…子どもたちとウーヴァ選手とのサッカー交流会、昔遊び、クラフト、お話し広場、子育て相談、おもちゃの修理
- ◇キッズワーク…お仕事体験(お店・ステージ・看護体験など 定員90人程度・予約優先)
- ◇物販…飲食物・物品販売・企業PRなど
- ◇わくわく…各エリアを楽しみながら回る「謎解きイベント」
- ◇その他
- ・市内6地区から若手農業者の紹介、熱気球体験、苗木無料配布、白バイ展示・はしご車搭乗体験、献血コーナー、使用済み小型家電回収など
- ※まつり前日の準備、当日のボランティアとして参加して下さる方を募集しています。詳しくは問合せ先へ。
- ◆問合せ先 とちぎ協働まつり2015実行委員会事務局
(とちぎ市民活動推進センターくらら内(水曜休) ☎(20) 7131)

議会報告会

— 医療・福祉・子育て等、一緒に考えてみませんか —

- 10月から市内19の会場で議会報告会を開催します。
- 当日は、議会報告のほか、議員と参加者が10人程度のグループになり、市政の課題等について語り合うフリートークを行います。
- 各会場には、地元の議員をはじめとした6～7名の議員がお伺いします。お気軽にお越しください。
- ◆時間 18時30分～20時
- ◆内容 議会報告(20分)
 - ・9月定例会の報告について
 - ・議会基本条例の検証及び議会改革について
 - ・とちぎメディカルセンターについて
 議員とのフリートーク(45分)

月日	会場
10/27(火)	小野寺地区公民館、寺尾公民館
10/28(水)	大平西地区公民館、第4地区コミュニティセンター
10/29(木)	大平東地区公民館、吹上公民館
11/4(水)	静和地区公民館、大宮公民館
11/5(木)	岩舟公民館、国府公民館
11/6(金)	大平南地区公民館、第5地区コミュニティセンター
11/11(水)	藤岡遊水池会館、都賀公民館
11/12(木)	赤麻地区公民館、赤津小学校体育館
11/17(火)	皆川公民館、真名子夢ホール
11/20(金)	西方公民館

◆問合せ先 本 議事課 ☎(21) 2505

電気さくの事故防止

静岡県西伊豆町で、鳥獣被害防止のために施設した電気さくによる事故が起きました。感電事故の再発を防止のため、現在電気さくを施設している方は、安全対策を適切に行っているかもう一度確認してください。また、これから電気さくの施設を検討されている方も、下記のことにご注意し、適切な安全対策を行った上で施設してください。

《電気さく施設上の注意》

- 1.施設箇所への危険表示**
電気さくを施設する場合、周囲の人が容易に視認できる位置や間隔、見やすい文字で危険表示を行う。
- 2.電源装置の確認**
電気さくの電気を30V以上の電源(コンセント用の100V等)から供給する場合、電気用品安全法の適用を受ける電源装置(PSEマークが付いた製品)を使用する。
- 3.漏電遮断機の設置確認**
電気さくを公道沿いなどの人が容易に立ち入る場所に施設する場合で30V以上の電源から電気を供給するときは、危険防止のために、15mA以上の漏電が起きたときに、0.1秒以内に電気を遮断する漏電遮断機を設置する。
- 4.開閉器(スイッチ)の設置確認**
容易に開閉できる箇所に専用の開閉器(スイッチ)を設置する。

◆問合せ先 本 農林課 ☎(21) 2289

とちぎ未来アシストネット

「地域で活躍する中学生ボランティア」
1年間の延べ活動人数25万2,716人。これは昨年度、「とちぎ未来アシストネット」に関連して学校の教育活動等を支援して下さったボランティアの方々のご活動実績です。このように、多くの地域の皆様のご支援により、市内全小・中学校で「とちぎ未来アシストネット」事業が定着してきています。おかげさまで、子どもたちはもちろん、教職員も充実した学校生活を送らせていただいています。

この活動については、地域の皆様にも、学校だよりやホームページ、公民館だより、あるいは実際の子どもの活動を通して目にされていると思いますが、今年度はこれまでに掲げて努力しているところですが、掲載写真は、中学生が地域の行事にスタッフの一員として参加して、活動の活性化や地域の方との交流、地域に生きる一員としての自覚をもつ機会となるなど、まさに「ふるさと」につながる活動となっております。



地域の行事に参加する中学生
上に、学校から地域への貢献活動を充実させ、学校と地域が双方向で支援し合うことを重点方針の一つに掲げて努力しているところですが、掲載写真は、中学生が地域の行事にスタッフの一員として参加して、活動の活性化や地域の方との交流、地域に生きる一員としての自覚をもつ機会となるなど、まさに「ふるさと」につながる活動となっております。

◆問合せ先 本 生涯学習課 ☎(21) 2488